

Indonesia Weekly

2017年7月10日



(対象期間: 2017/7/3* ~ 7/7)

*インドネシアの株式・債券市場は、ラマダン(断食月)明けの連休により6月23日から30日まで休場で、7月3日から再開しました。

[株式市場] ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日~2017年7月7日)

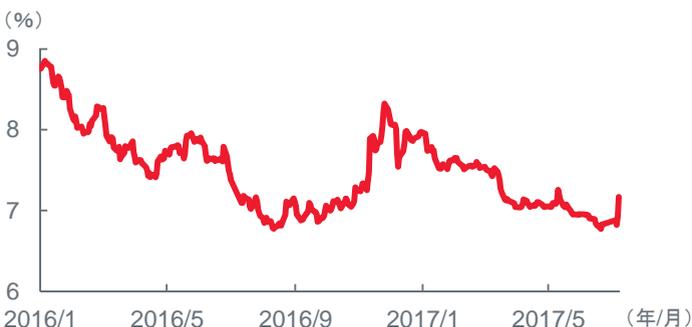


[株式市場]

レバラン(断食月明け大祭)休暇明けの株式市場は堅調なスタートとなりましたが、その後、欧州や米国の中央銀行のタカ派的姿勢が見られ世界的にリスク回避姿勢が強まったことを背景に下落しました。外国人投資家による利益確定売りも見られました。

2017/6/22*	2017/7/7	変化率
5,829.71	5,814.79	-0.26%

[債券市場] インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日~2017年7月7日)



[債券市場]

インドネシア債券市場の利回りは上昇(価格は下落)しました。国債の供給減見通しから週初は堅調となりましたが、世界的な債券利回りの上昇を背景に売りが優勢となりました。2017年度補正予算案における財政赤字の拡大見通しも嫌気されました。ラマダン中の衣服、輸送、住宅関連価格等の上昇を受け、6月の消費者物価は前年同月比+4.37%と予想をやや上回りました。

2017/6/22*	2017/7/7	変化幅
6.829	7.168	+0.339

[為替市場] インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日~2017年7月7日)



[為替市場]

米国債利回りの上昇を背景に米ドル高が進んだことからルピアは対米ドルで下落しました。また、インドネシア債券市場が大幅下落となったことも、嫌気されました。一方で、欧米の国債利回り上昇を受けて円安が進む中、日銀の5ヵ月ぶりの指値オペ(金利上昇を抑制)を受けてさらに円安が加速したことから、ルピアは対円では上昇しました。

2017/6/30	2017/7/7	変化率
0.841	0.848	+0.83%

100インドネシアルピアの対円レート

出所: グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

